



平成23年4月27日

健康福祉部健康増進課感染症・疾病対策グループ
担当者 谷口、橋本
電話番号 0776-20-0352
県庁内線番号 2620、2628

報道機関各位

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（平成23年第1報）

1 概要

平成23年4月26日午後5時頃、福井健康福祉センター管内の医療機関から同センターに対し、患者から腸管出血性大腸菌O111およびベロ毒素を検出した旨、届出があった。
このため、福井健康福祉センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施した。

2 患者等の状況

- ① 患者 福井健康福祉センター管内在住の男児 1名
主な症状：腹痛、下痢、血便、発熱、溶血性尿毒症症候群（HUS）※、脳症
現在の状態：症状は続いている。

発症日	初診日	入院	退院	便検査	
				便検査開始	ベロ毒素確認
4/21	4/21	4/21	—	4/21	4/25

※溶血性尿毒症症候群（HUS）：腸管出血性大腸菌の有症患者の1～10%が発症するといわれている。
下痢あるいは発熱出現後数日～10日で発症することが多く、溶血性貧血、血小板減少および急性腎機能障害を伴い、死亡にいたることもある。

- ② 接触者の健康状況

6名に症状なし。（6名に対し、検便を実施し、県衛生環境研究センターで検査予定）

3 発生に伴う対応

福井健康福祉センターにおいて、次の措置を実施した。

- ① 本人の健康状態、行動および喫食状況を食中毒の疑いを含め調査
② 衛生教育の実施
③ 自宅等の消毒の指示 食中毒(疑)調査については医薬食品・衛生課(0776-20-0354)で対応

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

		平成21年	平成22年	平成23年 (全国は4月17日現在)	備考
全国	届出数 (人)	3,837	4,131	206	去年同期 323人
福井県	発生件数 (件)	33	24	1	去年同期: 3件
	届出数 (人)	43	27	1	去年同期: 3人
	有症者 (人)	35	24	1	去年同期: 3人
	無症者 (人)	8	3	0	去年同期: 0人
	初発 (月日)	1/17	1/13	4/26	
	最終 (月日)	12/26	12/7		

※ 腸管出血性大腸菌感染症の発生がありましたので、以下のことを徹底してください。

感染を予防するには、各家庭において次の事項に留意することが大切です。

- ① 調理や食事の前には十分に手を洗いましょう。
② 調理器具は食品ごとにこまめに流水で洗い、熱湯をかけておきましょう。
③ 生野菜は流水でよく洗い、加熱する食品は十分に加熱（中心部を75℃で1分以上）しましょう。
④ 焼肉をする場合は、生肉専用の箸を用いるなど、箸の使い分けをしましょう。
⑤ 乳幼児、青少年、高齢者のほか抵抗力の弱い方は、ユッケや生レバー等生肉を食べないようにしましょう。